



ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間



令和6年10月17日
室蘭開発建設部

地域で活躍する先駆者と共に胆振・日高の観光と地域づくりを考えます

～「第9期北海道総合開発計画」キックオフシンポジウム～

北海道総合開発計画は、北海道の資源や特性を活かして、その時々我が国の課題解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図るため国が策定する計画です。

「第9期北海道総合開発計画」では、北海道の強みである高い食料供給力や魅力的な観光資源、豊富な再生可能エネルギーなどを活かし、我が国の課題解決に貢献するとともに、その基盤となる北海道の定住環境を維持していく取組を進めていきます。

室蘭開発建設部では、豊富な資源を有する胆振・日高地域において、地域で活躍する先駆者に登壇いただき、胆振・日高地域の新たな観光と地域づくりについて地域の方々と一緒に考える機会として、下記のとおりシンポジウムを開催します。

記

- 1 日時 令和6年11月22日（金）14：00～16：00
- 2 場所 ウポポイ（民族共生象徴空間） 体験学習館別館3号館
（白老郡白老町若草町2丁目3）
- 3 プログラム 別紙のとおり
- 4 参加費 無料 ※ウポポイの駐車場を利用する場合は、駐車料金がかかります。
- 5 定員 会場（70名）またはオンライン参加
※会場参加が多数の場合はオンラインでの参加となります。
- 6 申込方法 シンポジウムへの参加を希望される方は、11月14日（木）17時までに、QRコード又はURLからお申し込みください。
【応募専用フォームURL】 <https://forms.office.com/r/W5zpFRMHPJ>
- 7 取材希望 取材を希望される報道関係者の方は11月15日（金）16時までに「氏名、所属（会社名等）、連絡先（携帯電話番号）及び取材人数」を記載のうえ、下記メールアドレスまでお申し込みください。
【取材申込みメールアドレス】 hkd-mr-chiiki@gxb.mlit.go.jp



※ご提供いただいた個人情報は、当日の参加確認に使用させていただき、他の目的には使用いたしません。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 地域連携課
課長 尾野 定巳 電話 0143-25-7053
課長補佐 阿部 匡史 電話 0143-25-7053

室蘭開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>





持続可能な観光地域づくり
胆振・日高から考える

未来を創る

共に北海道の

同日開催
ウポポイエクスカージョン
10:00-12:00

2024年11月22日(金) 14:00-16:00
(開場 13:30)

プログラム

14:00-14:05	【開会挨拶】 北海道開発局室蘭開発建設部
14:05-14:35	【基調講演】 観光から観「公」へ～胆振・日高の可能性と戦略～ 北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 准教授 石黒 侑介 氏
14:45-16:00	【パネルディスカッション】 先駆者と語る新しい観光と地域づくりのカタチ ■コーディネーター 北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 准教授 石黒 侑介 氏 ■パネリスト ㈱第一滝本館 代表取締役 南 智子 氏 えりも観光協会 副会長 田中 照彦 氏 Sotoasobu 代表 江川 理恵 氏 ㈱平取町アイヌ文化振興公社 主任 木村 美咲 氏 ■コメンテーター 北海道運輸局観光部 次長 山崎 貴志 氏

会場

ウポポイ(民族共生象徴空間)
体験学習館別館3号館
(〒059-0502 白老郡白老町若草町2丁目3)

ZOOMにて
同時配信



申込方法

ご参加には事前のお申し込みが必要です。
QRコードまたは下記のURLからの応募をお願いいたします。
(<https://forms.office.com/r/W5zpFRMHPJ>)
会場参加(定員70名)またはオンライン参加
(会場参加が多数の場合はオンラインでの参加となります。)



申込期限：11月14日(木)17時
参加費用：無料 ※ウポポイの駐車場は有料

お問い合わせ：hkd-mr-chiiki@gxb.mlit.go.jp
国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 地域連携課

【主催】国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 【共催】公益財団法人 アイヌ民族文化財団
【後援】北海道運輸局、胆振総合振興局、日高振興局

本シンポジウムについて

北海道総合開発計画は、北海道の資源や特性を生かして、その時々のが我が国の課題解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図るため国が策定する計画です。

「**第9期北海道総合開発計画**」では、北海道の強みである高い食料供給力や魅力的な観光資源、豊富な再生可能エネルギーなどを活かし、わが国の課題解決に貢献するとともに、その基盤となる北海道の定住環境を維持していく取組を進めています。

室蘭開発建設部では、本計画の主要施策である「観光地域づくり」や「アイヌ文化の振興等の推進」に鑑み、**アドベンチャートラベル**などをきっかけに「**観光の質の向上**」や「**持続可能な観光**」に繋がる方策について一緒に考え、観光が胆振・日高地域の経済や社会の持続的発展に寄与し、そこで生活する地域住民が、今後とも具体的な取組を「**共創**」していくためのキックオフとして本シンポジウムを開催します。

講師・パネリスト

基調講演・コーディネーター

石黒侑介氏 (北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 准教授)

東京都生まれ。財団法人日本交通公社（現・公益財団法人日本交通公社）を経て2014年4月北海道大学着任。観光学高等研究センター特任准教授、同准教授を経て2021年4月より現職。2017年9月よりスペイン・バルセロナ大学ホテル・観光学院連携客員教授を兼務。専門は観光地経営論（観光政策と組織）。



コメンテーター

山崎貴志氏 (国土交通省北海道運輸局観光部 次長)

小樽商科大学商学部卒業。1995年運輸省北海道運輸局入局後、観光・交通行政に携わり、2021年4月に国際観光課長に就任。コロナ後のインバウンド復活に向けた海外プロモーションの他、高付加価値旅行者の受け入れ環境整備や海外プロモーションを担当。2023年4月より現職。



パネリスト

南智子氏 (株式会社第一滝本館 代表取締役)

登別市出身。1993年国際基督教大学院修了、コンサルティング会社を経て97年第一滝本館入社。2005年第一滝本館退社後、東京にて不動産開発、売買等に従事。13年に北海道に戻り第一滝本館8代目の代表取締役に就任。趣味はゴルフ、韓流ドラマ鑑賞。夫のマーク・ネイヴィン氏は豪州出身。



パネリスト

田中照彦氏 (えりも観光協会 副会長)

えりも町生まれ。学生時代は札幌で過ごし平成2年より家業の旅館とスナックを承継。平成22年よりえりも観光協会副会長。はまなす財団新観協研にて人材育成教育を受け、協会では観光商品開発を主に担当。コンポートクルーズとトッカリ焼を主力商品とした。SNSを利用した集客、求人が得意。



パネリスト

江川理恵氏 (Sotoasobu 代表)

岡山県生まれ。10回の引っ越しを経て伊達市に移住。2018年12月「Sotoasobu」を立ち上げガイド&自然体験指導を行う個人事業者となる。洞爺湖有珠山ジオパークをメインフィールドに、室蘭・登別などをご案内する歩くガイド。ガイド歴11年。特技はアルペンスキーとテレマークスキー（指導者）。火山と海と人が大好き。



パネリスト

木村美咲氏 (株式会社平取町アイヌ文化振興公社 主任)

平取町二風谷生まれ。(株)平取町アイヌ文化振興公社に勤め、21世紀伝承の森係主任。子どもの頃から二風谷にてアイヌ文化に触れながら育つ。東京で就職後、二風谷に戻り現職に就く。21世紀伝承の森係では、かつてのアイヌが利用してきたイオルの再生を目指し、森づくりに取り組んでいる。

